

学校だより



はと広場

令和6年 12月 号

さいたま市立北浦和小学校

TEL 048-831-2463

誇ろう！！

校長 永井 有司

師走の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

例年の事ですが、年末になると日本漢字能力検定協会から「その年を象徴する漢字一字」が発表されます。最近10年間に選ばれた漢字を右に書き出してみました。これらの漢字はその年の世相を表すといいますが、あまりよい年はなかったような印象を受けます。これは、日本全体を俯瞰しての漢字一字ですので、個々での印象は様々でしょう。マイナスな印象のものの方がクローズアップされやすいからかも知れませんが、個人的には、「もう少しよい印象を受ける漢字が並ぶような社会になればいいのにな」と思ってしまう。皆様はいかがでしょう。

【最近10年の漢字】

2023年：「税」

2022年：「戦」

2021年：「金」

2020年：「密」

2019年：「令」

2018年：「災」

2016年：「金」

2015年：「安」

2014年：「税」

2013年：「輪」

2012年：「金」

さて、教室でも「今年一年間を振り返って、自分にとっての漢字を考える」という取組をすることがあります。子どもたちも真剣に考えて理由も含めて漢字を決めます。小学生が選ぶ漢字で一番多いのは『楽』なのだそうです。「らく」ではなく「たのしい」という意味なのでしょう。子どもの問題もいろいろと取り上げられていますが、『楽』が一番多いことを知り、少しホッとするような気持ちになります。子どもたちの選ぶ漢字が、いつもポジティブな内容のものになるように、働きかけていきたいものです。

あるクラスで、子どもたちに漢字を考えてもらったあと、そのクラスの担任の先生は『誇』という字を選んだそうです。「先生は、今年ほど、クラスのことを誇らしく思ったことはなかったので、ズバリ！この漢字にしました。いつも進んで！率先して！取り組むみんなは、本当にステキでした。君たちは先生の誇りです。自慢です。」そのことを話した時の、子どもたちの照れくさそうな、でも嬉しそうな顔を忘れることはできませんとおっしゃっていました。「そんな1年間を過ごせたら、担任の先生もクラスの子どもたちも本当に幸せだろうなあ」と他人事のように思っていてハッとさせられました。校長であるわたしにとっての対象は、北浦和小学校の子どもたち全員なのだと気づかされたのです。そう考えると、4月からの様々な行事での姿、校外学習に出かけた時の姿等が浮かんできました。まさに『誇』に相応しい態度をしている子が多かったと思います。もちろん、成長過程にある子どもたちですから、様々な問題が起き、一步一步乗り越えていくのですが、「北浦和小学校の子どもたちは私の誇りです」といつでも胸を張って宣言できる子どもたちを育てていく責務をこそ負っているのだと自覚させられます。そして地域にとっての誇りともなるように、保護者の皆様、地域の皆様とともに育てていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

☆盛況！！北浦和フェスティバル

11月16日(土)の午後、北浦和小学校の校庭で、地域連絡協議会主催の『北浦和フェスティバル』が開催されました。コロナ禍を経て、実施形態は変化してきていますが、子どもたちがいろいろなブースで楽しそうに活動している姿がとても印象に残っています。子どもたちのために、計画段階から準備から当日の運営から関わってくださった方々に心より感謝を申し上げます。

